

青森・岩手県境における
トレーサ試験結果について
(中間報告)

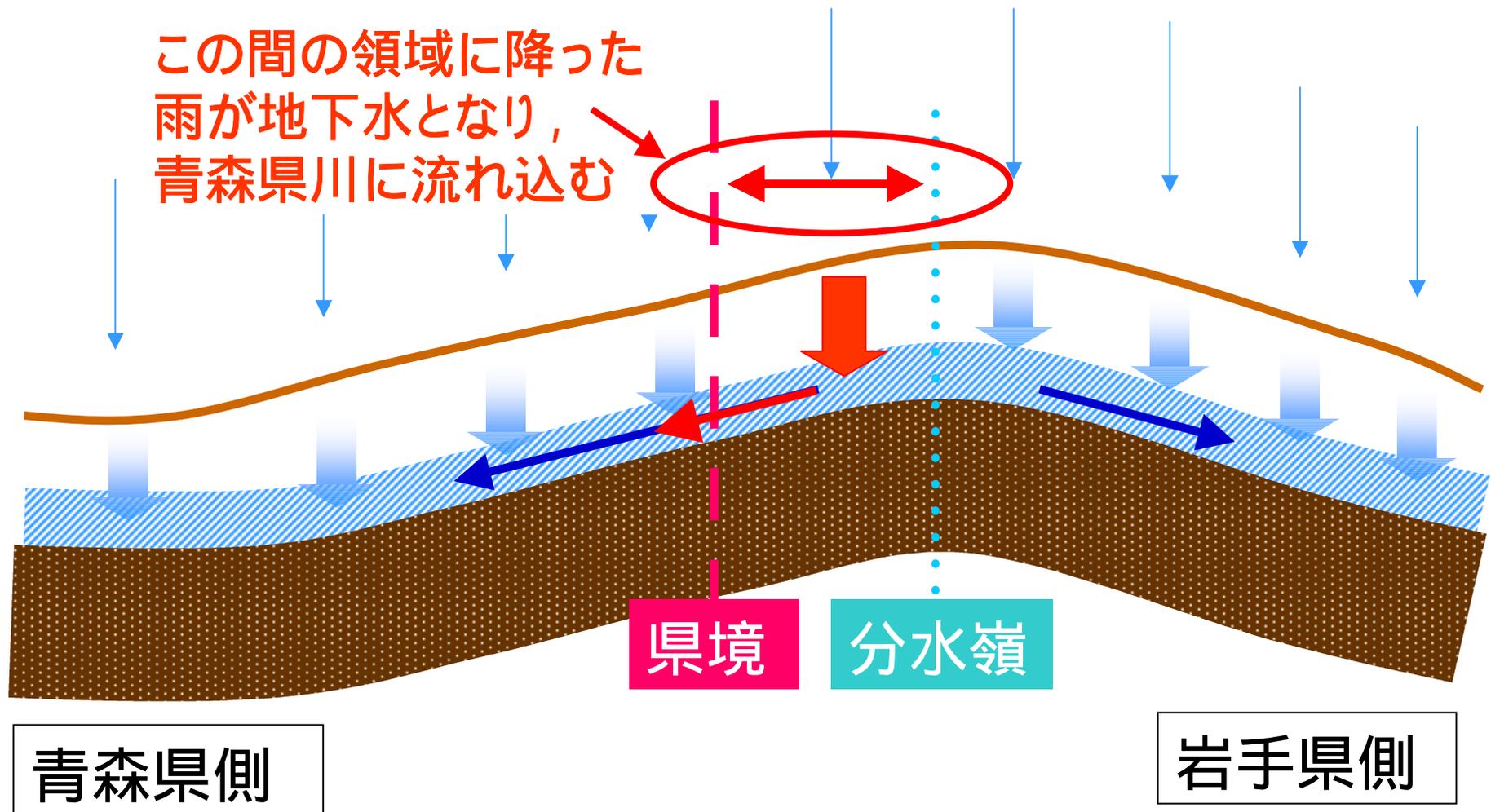
北海道大学大学院工学研究科

これまでの調査結果ー地下水流れー

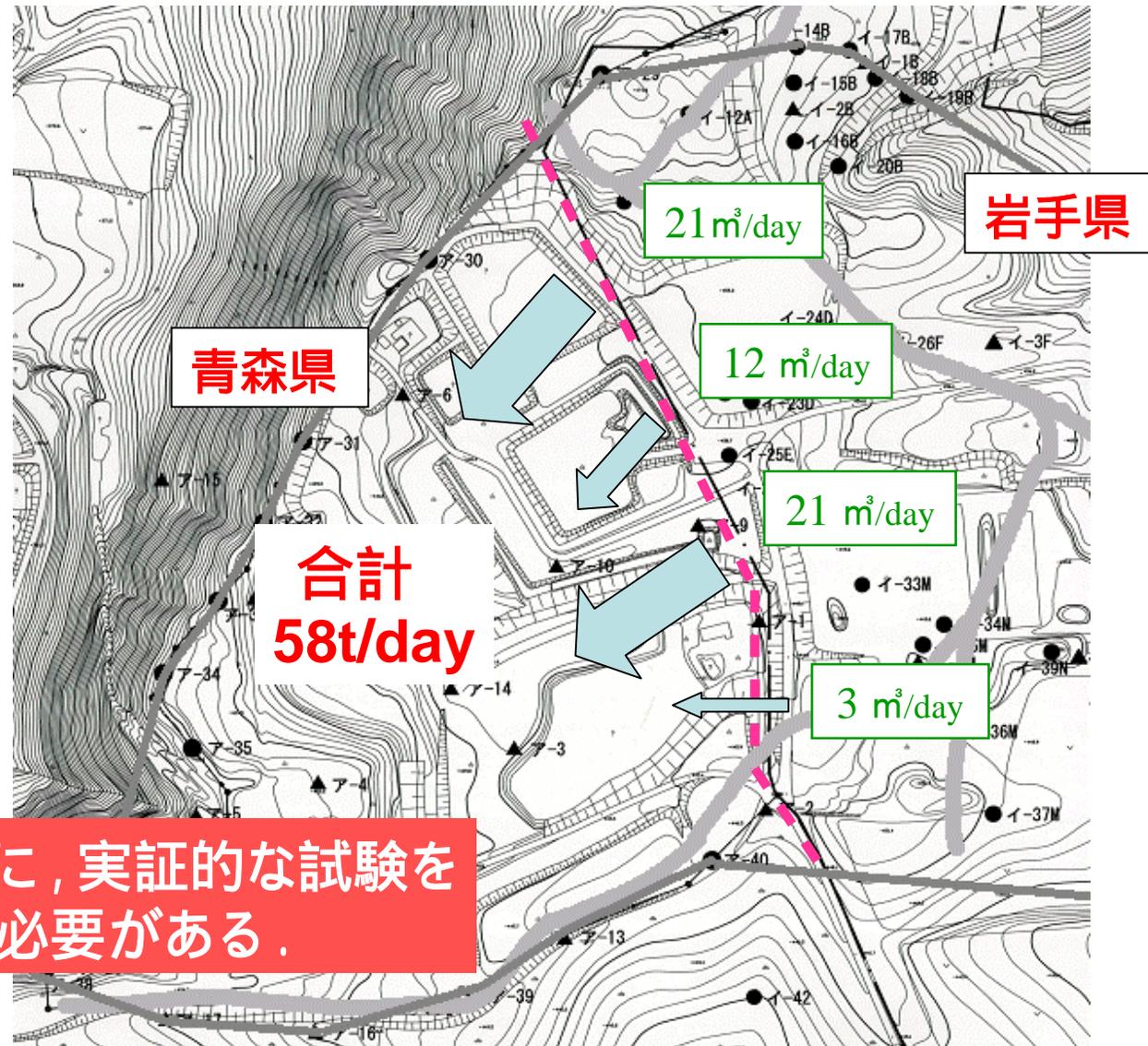


汚染現場のモデル化

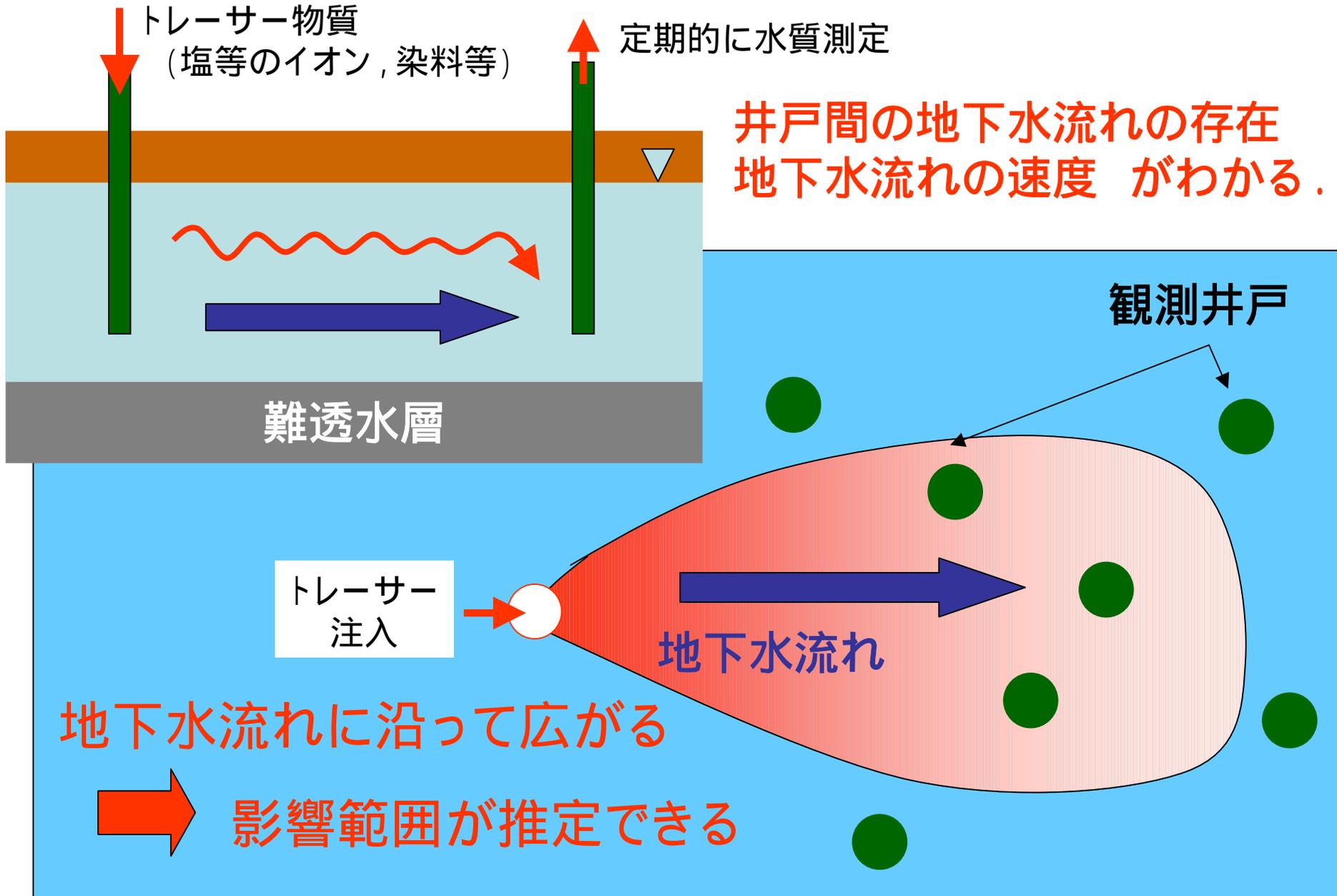
高台に位置し、降雨以外の涵養は無い。
分水嶺と県境は異なる位置に存在する。



数値シミュレーションによる県境を通過する地下水流量の推定



トレーサー試験とは



今回試験に用いたトレーサー物質

In (インジウム)とHo (ホルミウム)

自然界に極微量にしか存在しない金属 (微量で検知可能)

トレーサ物質として優れており、精度が極めて高い手法として評価されている。

毒性がなく安全

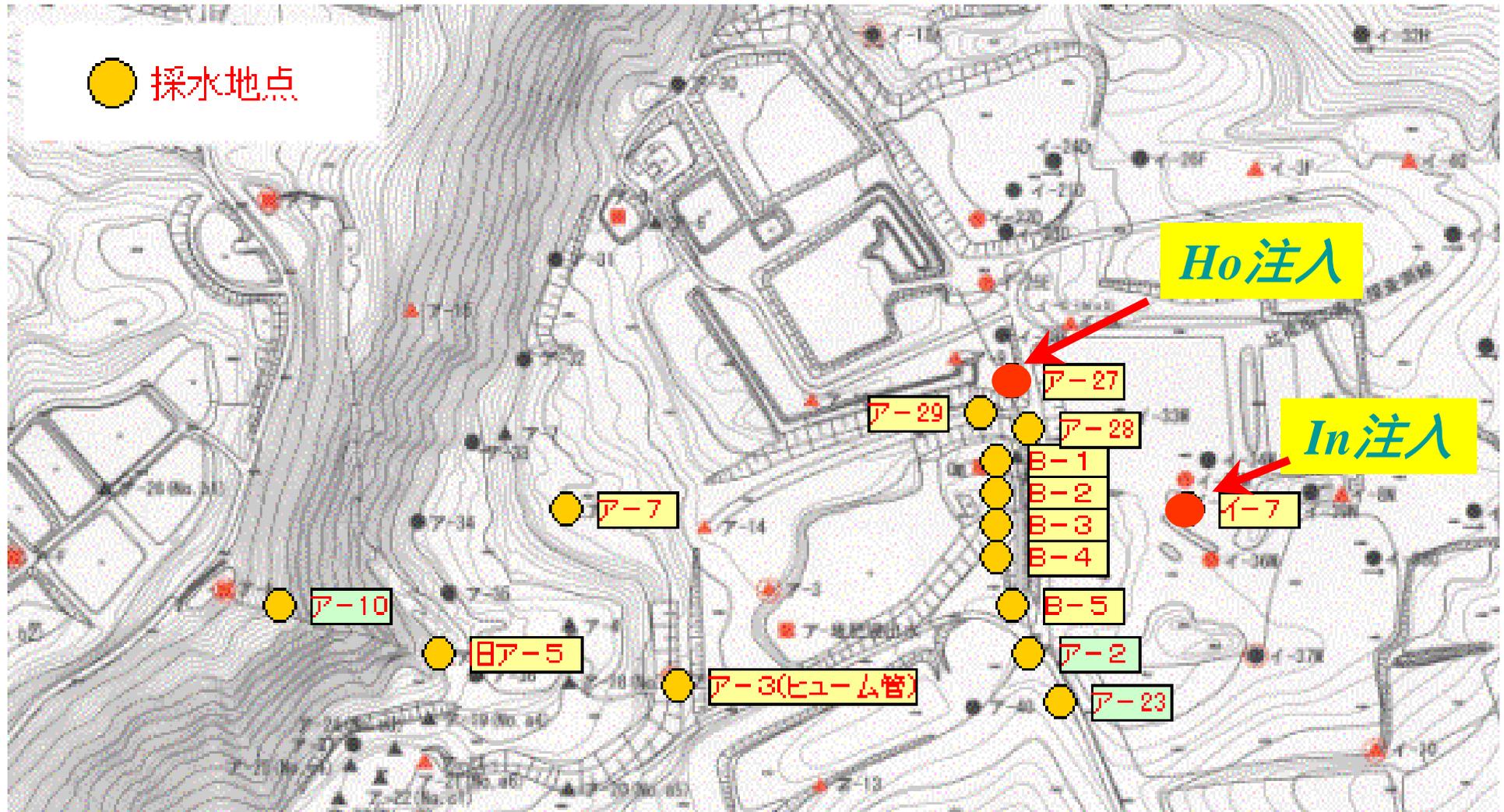
- ・ppbオーダーでの実験
- ・比較的毒性の弱い水溶性錯体の形であること
- ・アユに対する毒性試験の結果、毒性が認められなかった。

(参考文献: アクチバブルトレーサの毒性に関する資料 (財)九州環境管理協会)

分析機関: 青森県環境保健センター, (財)九州環境管理協会)

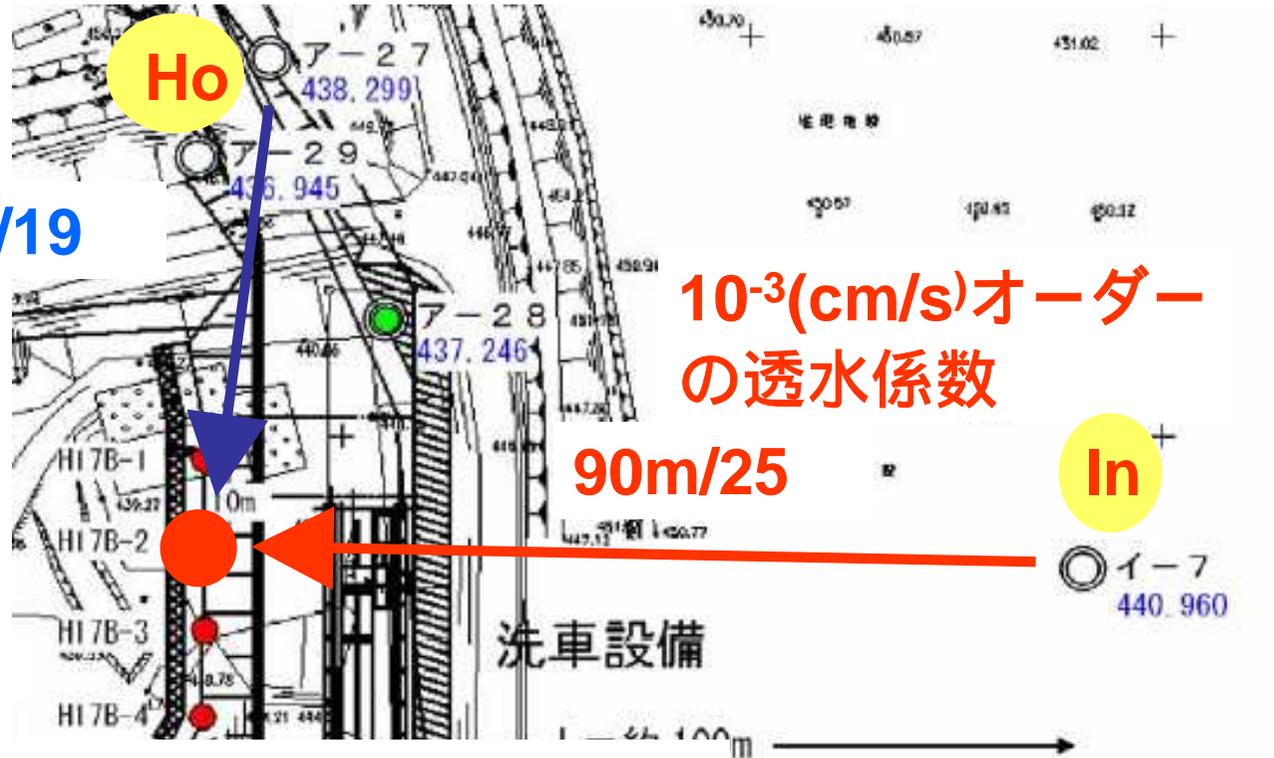
トレーサー注入井戸と観測井戸の位置

トレーサー注入日:2005年8月18日

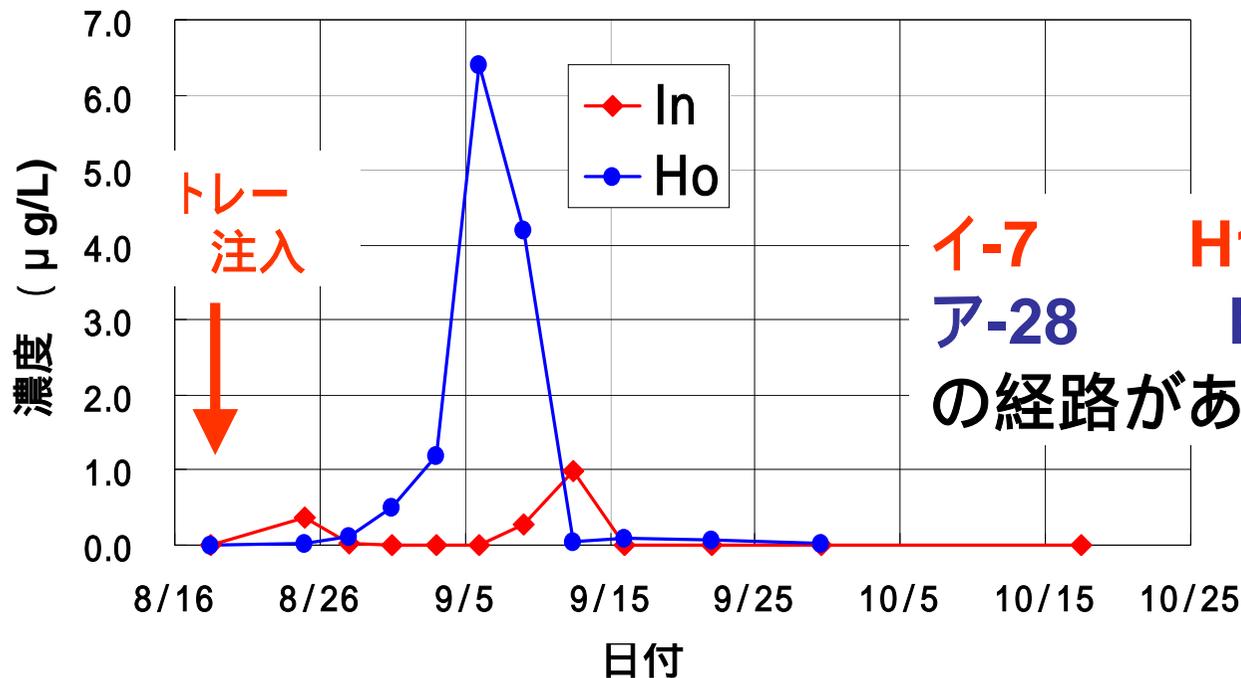


試験結果

60m/19



H17B-2地



イ-7 H17B-2
ア-28 H17B-2
の経路があることが確認された。

まとめ

今回のトレーサ試験により、
岩手県側から青森県側へ
の地下水の流入が実証された。